

神崎村与治兵衛年貢勘定控え帳写し概要

- 1: 文書群番号 085005
- 2: 文書群名 神崎村与治兵衛年貢勘定控え帳写し
- 3: 出所 神崎村与治兵衛家
- 4: 家業・役職等 神崎村庄屋
- 5: 地名 摂津国川辺郡神崎村／兵庫県川辺郡神崎村／川辺郡小田村神崎／尼崎市神崎／尼崎市神崎町ほか
- 6: 行政区分 幕府領／尼崎藩領／兵庫県第11区／下坂部組戸長役場／小田村／尼崎市
- 7: 歴史 神崎村は市域東部、神崎川西岸に位置。古代より神崎川の河口港（神崎津）が発達、近世には中国街道・有馬道を通行するための船渡し場（神崎の渡し）、尼崎藩指定の宿駅（神崎駅）が置かれた。神崎駅は幕府公用のために人馬継立てを行なうほか、伊丹・近在の酒荷物等も扱ったため、神崎の馬持ちと伊丹の馬借との間で争論になった。同村は丹波方面からの年貢米の津出し場があり、宝暦8年（1758）には、年貢米や浜着の諸荷物を扱う問屋が6軒あった。本文書群にみえる与治兵衛は、文政～天保期（1818～1843）神崎村庄屋であり（中堂仁三郎氏文書）、明治期は中堂姓を名乗っている（田中大庄次郎氏文書）。
- 8: 伝来 昭和60年（1985）6月、古書籍商の森里博氏より寄贈された（未手続）。本文書群の原蔵者と考えられる与治兵衛家から文書が流出した経緯は不明。平成15年（2003）1月に整理・目録作成を完了。
- 9: 史料入手先 森里博氏（古書籍商）
- 10: 点数 1点（目録件数1件）
- 11: 年代 慶応2年（1866）
- 12: 構造と内容 本文書群は神崎村与治兵衛分の年貢収納に関する勘定帳の控え（写し）である。
- 13: 関連史料
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 松迫寿代